

授業で使える仏像 3 D コンテンツ

先生用マニュアル 3 Dで探る静岡県の仏像編

オフライン用の使用方法

- ①ダウンロードした zip ファイルを解凍してください。
- ②下図のようにフォルダ内に「data」フォルダーと「era.exe」ショートカットが表示されます。
- ③「era.exe」ショートカットを押下すると、オフライン用が使用できます。



3Dで探る静岡県の仏像 指導マニュアル

【トップページ】



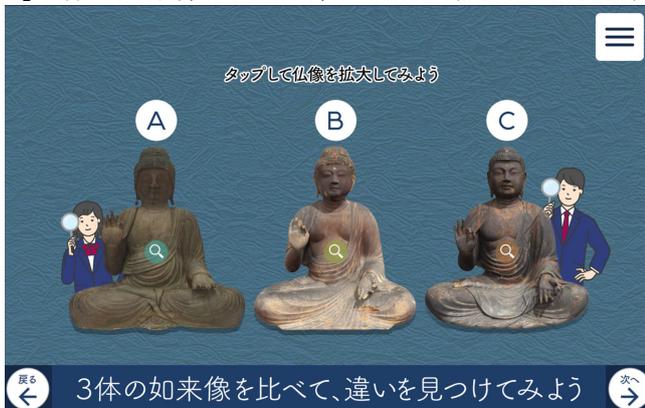
【目的】

本コンテンツは、静岡県内の仏像を題材に、仏像が作られた時代・時期とその作風の違いを学ぶことを通じ、地域の文化財に対する興味・関心を高めることを目的としている。

【指導上の留意点】

生徒の自由な発想を促すため、活動の序盤では仏像が作られた時期・時代の歴史、その作風には触れないように注意する。

【3体の如来像を比べて、ちがいを発見してみよう】(所要時間：20分)



【目的】

造形的な視点で同じ種類(如来)の3体の仏像を鑑賞・比較し、多様な造形要素を根拠にその違いを見つけることで、一見同じように見える仏像でも、個々にその造形が異なることに気付く。

【進め方】

仏像をタップし、拡大した3D画像で鑑賞する。

① 3体の如来像の比較(個人活動)【10分】

3体の如来像を造形的な視点をもとに、違いを見つける。

② 3体の如来像の比較(グループ活動)【10分】

生徒同士で意見を出し合い、対話を通してグループの考えを広げ、深める。

③ 各グループの考えの発表【5分】

各グループの考えを学級全体で共有する。

【指導上の留意点】

①鑑賞・比較の際、仏像の歴史や作風といった制限を設ける発言はせず、生徒の造形的な視点への自発的な気付きを促す。

②グループ活動では、複数のタブレットを横並びにすると比較しやすいことを伝える。

③生徒の考えの正誤は重視せず、生徒達が造形的な視点を根拠に鑑賞し、思考・判断・表現したことを評価する



【時代・時期ごとの仏像の特徴】（所要時間：15分）



【目的】

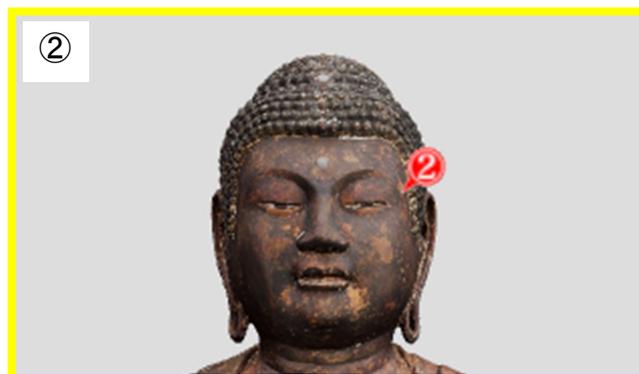
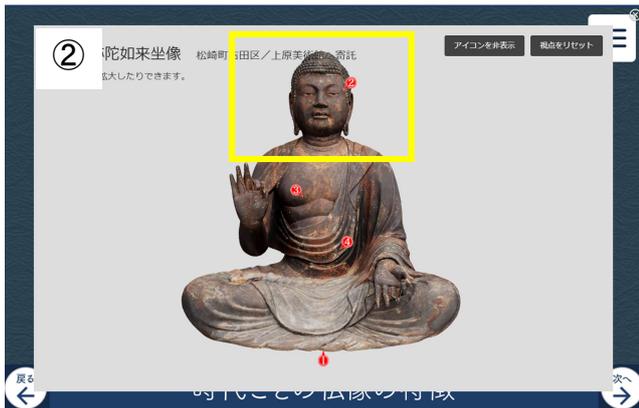
仏像が作られた時代・時期の歴史、その移り変わりによる作風の違いや変遷を知る。

【進め方】

- ①各時代・時期の仏像3D画像を確認する。
（〇〇時代と書かれた箇所をタップすると仏像3D画像が拡大される）
- ②仏像3D画像にある番号をタップする。
- ③それぞれの特徴の解説を確認する。
- ④①～③について、全ての仏像で確認する。

【指導上の留意点】

複数のタブレットを横並びにすれば、複数の時代の仏像の解説を同時に映し出し、比較することができることを伝える。



【まとめ～時代・時期が異なる如来像～】(所要時間：5分)



【まとめ】

- 修学旅行での仏像鑑賞で、本コンテンツで学んだ仏像の作られた時期・時代による造形的な違いを意識・想起することで、様々な気付きや発見が生まれ、仏像鑑賞がより楽しく豊かなものになることを伝える。
その上で、自分の「お気に入り」の仏像を見つけたり、新たな疑問について探究したりすることを促す。
- 仏像をきっかけとして、自分たちが暮らす身近にも地域の歴史や文化を象徴する文化財が伝来すること、それらを製作したり、現在まで守り伝えたりしてきた先人の存在を確認する。
その上で、それらを後世に守り伝えることが私たちに求められることであり、知ること・学ぶことがその第一歩となることを確認する。
- コンテンツ終了後は、LEGA-SHIZU×3Dにアクセスし、様々な仏像や他の文化財（土器、古墳、石室等）の3D画像にも積極的にふれるように促す。

坂ノ上薬師堂(静岡市)
天王形立像



建穂寺観音堂(静岡市)
不動明王立像



かなみ仏の里美術館(函南町)
①阿弥陀如来坐像
②聖観音立像



摩訶耶寺(浜松市)
①不動明王立像
②阿弥陀如来坐像



応賀寺(湖西市)
毘沙門天立像



松崎町吉田区/
上原美術館へ寄託(下田市)
阿弥陀如来坐像



河津平安の仏像展示館(河津町)
①薬師如来坐像
②十一面観音立像

